

下原委員（草莽の会）

平成30年3月9日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）広島叡智学園の目指すところについて

広島叡智学園において、生徒たちにどのような学びの場を与えることができるかという、教育内容の部分こそが最も重要であると思うが、広島叡智学園の目指すところは何か、教育長に伺う。

（答）

本県では、平成26年度に広島版「学びの変革」アクションプランを策定し、すべての子供たちに「変化の激しい社会を、たくましく生きていくことができる力」を育むために、「知識を詰め込む」のではなく、子供たちの「学びたい意欲」を掻き立て、「学び続ける力」を育成する、「主体的な学び」を促す教育活動が実践されていることを目指しております。

こうした教育活動を実践していくに当たりましては、理想の教育の在り方を目指して、教職員も生徒も共に学び続けることが必要だと考えております。

広島叡智学園は、本県が推進しております「学びの変革」を先導的に実践をし、その成果を県内の国立や私立の学校も含めて還元することによりまして、県全体の教育水準の向上に繋げる重要な役割を担っている学校でございます。